



一般社団法人 日本LD学会

会 報 第 89 号

Japan Academy of Learning Disabilities

【事務局】 〒108-0074 東京都港区高輪 3-24-18 高輪エンパイヤビル 8F
TEL:03-6721-6840 URL:<http://www.jald.or.jp>

主な記事

<特集>

- ・最近の施策<文部科学省>
 <厚生労働省>
- ・教育支援資料について

<連続講座>

- ・教員の専門性の向上に向けた研修体制の構築

<お知らせ>

- ・2014年度の予定について



年次大会を開催する意義とは？

和歌山大学大学院

小野次朗

今年、11月23日（日）・24日（月・祝）に、大阪国際会議場で、第23回大会を開催します。この会報が皆様のお手元に届くころには、準備作業もたけなわといったところではないでしょうか。

和歌山・大阪大会の準備に当たり、私自身が留意している点について、いくつかお知らせします。

年次大会の目的には、主催者としては、①学会の方針の周知、②新しい情報の提供、③会員相互の親睦の機会の提供などがあります。一方、参加される皆様の目的としては、④新しい情報の入手、⑤仲間との再会、⑥新しい出会い、⑦心身のリフレッシュなどが考えられます。

それぞれのポイントについて触れます。①について、今年は学会理事長の交代という変革の年です。20年以上の本会の歴史と今後について、現理事長（上野一彦先生）と現副理事長（竹田契一先生）の対談を通して、明らかにしていきたいと思っておりますので、ご期待ください。

②と④は表裏一体の関係です。幅広い領域から、今年度は特に、大会テーマの『より効果的な支援

をめざして』、その中でも「学習支援」を中心に据え、特別講演・教育講演・ミニレクチャーを準備しています。これまでの大会で、参加人数が予想以上に増えたため、「聴きたい講演も聴けなかった」という声も伺っています。その反省の元、昨年の横浜大会に続き、国際会議場という、現在の日本において提供しうる最高の場を準備し、「聴きたい講演は聴ける」を合言葉に、準備を進めています。会場案内を含め、大会運営が滞りなく進むよう、副会長の里見恵子先生とともに、関西のS.E.N.S.の会各支部会会員の協力を得て行く所存です。

③と⑤については、旧交を温める機会になることを心から願うとともに、日本全国から様々な職種・専門家が集まる機会ですので、自主シンポジウムやポスター発表での討論も含め、是非多くの新しい方々（⑥）と交流して下さい。以上述べたような、様々な機会を通して、心身ともに、リフレッシュ（⑦）して、翌日からの支援に役立ててもらえればありがたいです。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。